

最低制限価格について

工事・コンサルでは、事前公表している最低制限基準金額に最低制限価格算出割合を乗じて算出された金額以上予定価格以下のうち、最も低額を入札した者が落札候補者となります。

最低制限価格算出割合は、**くじ番号と入札書提出時間のミリ秒**から算出します。

- ① 入札参加者は、入札時に「くじ番号(3桁)」を入力します。
- ② くじ番号と入札書提出日時の秒(ミリ秒単位の下3桁を使用)の和を「確定番号(3桁)」とします。「確定番号」が4桁になる場合は、下3桁を使用します。
- ③各業者の「確定番号」の和の合計を
最低制限価格算出割合(97.00~99.99)→300パターンで割ります。
- ④③の余りを100で割り97.00%に加算します。

【計算式】

(各業者のくじ番号+入札提出日時ミリ秒の下3桁の合計)÷300の余り÷100
上記で算出した数値(0.00~2.99)を下限率(97.00%)に加算する。

最低制限価格算出割合の計算例

入札参加業者	A建設	B建設	C建設
① くじ番号(入札時に入力)	261	702	077
② 入札書提出日時	1月22日13時16分 35秒642	1月22日14時26分 35秒012	1月22日16時54分 10秒962
③ 入札書提出日時のミリ秒	642	012	962
④ 確定番号(①+③)下3桁	903 (=261+642)	714 (=702+012)	039 (=077+962)
⑤ 確定番号の合算	903 + 714 + 039 = 1656		
⑥ ⑤確定番号の合算÷300 ※97.00～99.99%→300パターン	1656 ÷ 300 = 5 余り156		
⑦ ⑥余り÷100	156 ÷ 100 = 1.56		
⑧ ⑦+97.00 最低制限算出割合	1.56+97.00=98.56		

※再算出の場合

最低制限基準金額以下でその金額に最も近い入札者の算出割合(入札金額÷最低制限基準金額)を算出割合の上限とし、⑥の300の代わりになるパターン数を算出します。

最低制限価格算出割合の再算出

- 1回目の算出割合は98.56%でした。最低制限比較価格以上最低制限基準金額以下の入札者はいません。
- 2回目 **最低制限基準金額以下でその金額に最も近い入札者の算出割合(入札金額÷最低制限基準金額)**が98.45%でしたので、算出割合は、97.00~98.45%の**146**パターンで再計算します。その結果、算出割合は97.50%でした。よって「業者2」が落札(候補)者となります。計算式: $<1656 \div 146 = 11 \text{ 余り } 50$

$$50 \div 100 = 0.50$$

$$97.00 + 0.50 = 97.50 >$$

【1回目】

設計額	
最低制限基準額 (a)	
最低制限比較価格上限 (a) × 0.9999	
最低制限比較価格 (a) × 0.9856	
	業者 1 (0.9845)
	業者 2 (0.9796)
	業者 3 (0.9705)
	...
最低制限比較価格上限 (a) × 0.9700	

算出割合 : 300
(97.00~99.99)
落札候補者無し

【2回目】

設計額	
最低制限基準額 (a)	
最低制限比較価格上限 (a) × 0.9845	業者 1 (0.9845)
	業者 2 (0.9796)
最低制限比較価格 (a) × 0.9750	
	業者 3 (0.9705)
	...
最低制限比較価格上限 (a) × 0.9700	

算出割合 : 146
(97.00~98.45)

←落札候補者

電子くじについて

同価の入札をした者が2人以上あるときは、電子くじにより落札(候補)者を決定します。また、事後審査型条件付き一般競争の場合、同価の入札をした者が3人以上の場合は、審査順位も決定します。

- ① 入札参加者は、入札時に「くじ番号(3桁)」を入力します。
- ② くじ番号と入札書提出日時の秒(ミリ秒単位の下3桁を使用)の和を「確定番号」とします。「確定番号」が4桁になる場合は、下3桁を使用します。
- ③ 電子くじ対象者を入札書提出時間順に、「入札順位」を0から振ります。

【数式】電子くじ対象者の「確定番号」の和 ÷ 対象者数

上記の数式で得られた余りと、入札順位の数値が一致した入札者が落札(候補)者となります。

審査順位は、残りの同価の入札をした者(順位1位を除き)で上記方法により落札候補者2位を決定します。それを繰り返し審査順位が決定します。

電子くじの計算例

※電子くじ対象者が3者の場合の計算例

電子くじ対象者	A建設	B建設	C建設
① くじ番号(入札時に入力)	261	702	077
② 入札書提出日時	1月22日13時16分 35秒642	1月22日14時26分 35秒012	1月22日16時54分 10秒962
③ 入札書提出日時のミリ秒	642	012	962
④ 確定番号(①+③)下3桁	903 (=261+642)	714 (=702+012)	039 (=077+962)
⑤ 入札書提出順位(②の早い者順)	0	1	2
⑥ ④の合算	903 + 714 + 039 = 1656		
⑦ ④の合算÷電子くじ対象者	1656 ÷ 3 = 552 余り0		
落札(候補)者	A建設 【⑦の余りと⑤が合致した業者】		

落札(候補)者A建設を除いたB建設とC建設の2者で同様に計算し、2番目の業者を決定します。
④の合算[753]から、電子くじ対象者数[2]を割ると余り[1]。⑤はB建設[0]・C建設[1]なので、C建設が2番目となります。B建設は3番目です。